

指導の手引き 注意

注1：この手引は、教師が児童の前で発音してみせることを想定した、教師のための練習用です。児童に
対してここに書かれたコツを全て説明する必要はありません。児童には、できるだけたくさん聞かせ、
言わせることが大切です。

注2：音節がひとつの語は、アクセントについて触れていません。

注3：この手引きでは apple や jam や cat などの a は「エア」と発音するように書いていますが、hair
(ヘーア 髪の毛) のように「エ」と「ア」を続けて発音するのではなく、「エ」を発音する口の形で
「ア」と言うと近い音になります。

指導の手引き 1 食べ物①

rice ball	rice のほうをやや高く、強めに。	おにぎり
英語らしい音を出すコツ	r は、前に w を添えるつもりで口を尖らして発音。 ball の l は舌先を上の歯の裏に押しつけたまま発音。	
文法的な注意事項	複数なら rice balls になる。数えるときや好き嫌いを伝えるときには、I like rice balls. のように複数形を使う。	
文化的な情報、応用表現など	具は何が好き？ What do you like in your rice balls?	

bread		パン
英語らしい音を出すコツ	b と r の間に u を入れないように練習するには red, red, red, bread と、リズミカルに続けて言う。red と言う前に唇を閉じるだけと考えてよい。	
文法的な注意事項	複数あっても bread と言う。 I like bread. と -s はつけないで使う。	
文化的な情報、応用表現など	写真のパンは rolls と言う。種類で呼び方を変えるときは、複数にすることが多い。丸いパンを buns (バンズ) と呼ぶこともある。クロワッサン (croissant) も rolls の仲間。	

noodle		めん
英語らしい音を出すコツ	語尾の -le は ball の l と同様、日本語の「る」のように舌を弾かずに、舌の先を上の歯の裏に押しつけたまま、暗い「ウ」のような音で終わる。「ヌードゥ」のように聞こえる。	
文法的な注意事項	普通は複数形にしない。 I like noodle. でよい。 I like a noodle では「1本だけが好き」になる。	
文化的な情報、応用表現など	うどんは noodle, そばは buckwheat noodle と言う。ラーメンは最近は ramen のままで英語として使える。	

egg		卵
英語らしい音を出すコツ	e を少し長めに、g は息を破裂させずに止める。語尾の「ぐ」に力を入れない。	
文法的な注意事項	殻のままなら複数形になる。殻を割り料理の材料になつたら複数形にはせず a もつけない。	
文化的な情報、応用表現など	生卵 (raw egg) は、嫌がって食べない外国人が多い。	

fish		魚
英語らしい音を出すコツ	下唇に歯をあてて f を発音する。	
文法的な注意事項	数えられる名詞なので 1 匹なら a fish だが、複数でも fish. How many fish do you see? 「魚は何匹いる？」 -s をつけた形を普通は使わない。	
文化的な情報、応用表現など	骨のない切り身は、fillet 「フィレ」。イギリス英語では語尾の t は発音しない。語源は「牛ヒレ」と同じでフランス語。「フィレオフィッシュ」は fillet of fish のこと。of と fish の f がつながって、of の f が fish の f と同化、「オフィッシュ」と聞こえる。	

sausage	語の最初にアクセント。	ソーセージ
英語らしい音を出すコツ	sau のところだけ長く、あとは短めに。「ソーシジ」のように聞こえる。	
文法的な注意事項	数えられる名詞なので、1 本なら a sausage だが複数には -s をつける。数えるときや好き嫌いを伝えるときには I like sausages. 数えるときには How many sausages do you see in the pan? 「フライパンにソーセージが何本見える？」	
文化的な情報、応用表現など	「ウインナー」では英語として通じない。Vienna sausage と言う。Vienna (ヴィエナ) はオーストリアの首都。なお、フランクフルトソーセージは Frankfurter (フランクファータア)。	

jam		ジャム
英語らしい音を出すコツ	「ジェアム」のように発音すると英語らしい。	
文法的な注意事項	数えられない名詞。I like strawberry jam. と、a や -s をつけないで使う。	
文化的な情報、応用表現など	bread and jam とは、ジャムを塗ったパン。and は軽く bread-n-jam のように言う。	

指導の手引き 1 食べ物②

omelet	語の最初にアクセント。	オムレツ
英語らしい音を出すコツ	最初のoは「ア」と言うつもりで口を開け「オ」と発音するとちょうどよい。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。a cheese omelet。数えるときや好き嫌いを伝えるときには I don't like plain omelet.	
文化的な情報、応用表現など	plain omelet は具の入っていないもので「プレイン」と発音。和風のだし巻き卵も、omelet と呼んでよい。	

curry and rice	curry と rice に同じアクセントを。	カレーライス
英語らしい音を出すコツ	curry は「カリ」。andは軽く「カリ・ン・ライス」のように発音する。	
文法的な注意事項	curry and rice でひとつの料理名、数えない名詞として扱う。Do you like curry and rice? 「カレーライスは好きですか？」	
文化的な情報、応用表現など	curry だけでも料理名として使う。I don't like Thai curry very much. It's too hot for me. 「タイカレーは私には辛すぎて、あまり好きではない」	

beefsteak	語の最初にアクセント。	ステーキ
英語らしい音を出すコツ	「ステーキ」ではなく「ステーク」。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。	
文化的な情報、応用表現など	steak はもともと牛などの半身の後ろ部分を厚切りにしたものを指す。Steak だけで beefsteak のことだとわかる。	

grilled fish		焼き魚
英語らしい音を出すコツ	grilled のlとedをひとかたまりのように発音し、grilled fish を2拍で言うと英語らしくなる。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。	
文化的な情報、応用表現など	英語圏の料理では、まるごと焼いた魚(いわゆる「尾頭付」)を食卓に出すことはあまりしない。	

spaghetti	「ゲ」にアクセント。	スパゲッティ
英語らしい音を出すコツ	最初のsは軽く添え、「sパゲティ」や「sパゲリ」のように言う。「ゲティ」よりも「ゲリ」と聞こえてよい。gheのあとに促音(ッ)を入れないこと。	
文法的な注意事項	普通は複数形にしない。I like a spaghetti. では「1本だけが好き」になる。I like spaghetti. でよい。	
文化的な情報、応用表現など	語源はイタリア語の「ひも」。ナポリタンというメニューは日本での発明。	

sandwich	語の最初「セア」にアクセント。	サンドイッチ
英語らしい音を出すコツ	「サンド・イッチ」ではな「セアン-d-ウィッチ」のように、dを軽く、wはしっかり発音する。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。	
文化的な情報、応用表現など	「ハムサンド」の「サンド」のように短くしては英語でなくなる。sand は「砂」の意味なので a ham sandwich が正しい。	

soup		スープ
英語らしい音を出すコツ	しっかり口を丸めてu: の音を発音すること。	
文法的な注意事項	数えられない名詞。	
文化的な情報、応用表現など	英語では soup は食べる(eat)もの。drink soup とは言わない。	

salad	語の最初「セア」にアクセント。	サラダ
英語らしい音を出すコツ	「セアラd」と発音する。語尾のdは上の歯の裏に舌先をつけて止める「ダ」にならない。	
文法的な注意事項	数えられない名詞として扱う。I like salad very much. 「サラダ大好き」 I eat salad every day. 「毎日サラダを食べる」	
文化的な情報、応用表現など	料理名としては数えられる名詞。I'd like a green salad. (レストランでの注文)。料理に添えた生野菜を指す場合には、数えられない名詞として扱う。Do you want more salad? 「サラダ、もっといる?」	

指導の手引き 1 食べ物③

cake		ケーキ
英語らしい音を出すコツ	「ケーク」でなく、むしろ「ケイク」。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。	
文化的な情報、応用表現など	日本でショートケーキと呼ぶものは、sponge cake と呼ぶのがよさそう。元来 shortcake の short とは「サクサクした」という意味であり、ビスケットのように焼いた生地にフルーツやクリームをのせたものを指す。	

chocolate	語の最初の cho-にアクセント。	チョコレート
英語らしい音を出すコツ	最初の choc-は「チャ」と言うつもりで口を開け「チョ」と発音するとちょうどよい。また、語尾の late は「レイト」でなく「リト」なので、「着火率」のように聞こえるようなら英語らしくなる。	
文法的な注意事項	数えられない名詞。	
文化的な情報、応用表現など	英語で hot chocolate と呼ぶのは、飲み物のココアのこと。	

pudding		プリン
英語らしい音を出すコツ	語尾の ing は鼻へ抜ける音。舌の先を歯茎から離して「ン(グ)」。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。	
文化的な情報、応用表現など	日本人が「プリン」でイメージするのは custard pudding であり、英米人が普通 pudding と呼ぶ、焼いたり蒸したりする料理とは異なる。	

ice cream	最初の ice の方を強めに。	アイスクリーム
英語らしい音を出すコツ	最後の m は mu 「ム」にならないよう、口を閉じるだけよい。	
文法的な注意事項	数えられない名詞。	
文化的な情報、応用表現など	アイスクリームをのせるコーンは、cone (円錐) である。「コウン」と口を丸めて発音する。トウモロコシの corn ではない。	

pie		パイ
英語らしい音を出すコツ	「パーイ」と伸ばして発音すると英語らしくなる。	
文法的な注意事項	丸ごとなら数えられる名詞だが、好き嫌いを伝えるときには、数えない名詞として使うのが普通。My brother likes potato pie. 「私の兄弟はじゃが芋のパイが好きです」	
文化的な情報、応用表現など	フルーツなどを上にのせて焼いたものは、イギリスでは tart と呼んで区別する。	

parfait	fait のところにアクセント。	パフェ
英語らしい音を出すコツ	語尾の t は発音せず、「パーフェイ」。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。	
文化的な情報、応用表現など	フランス語から。	

dessert	sertのところにアクセント。	デザート
英語らしい音を出すコツ	語の最初の de はアクセントがないので「ディ」と「デ」の中間の曖昧な発音でよい。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。	
文化的な情報、応用表現など	食後の甘いもの、果物もアイスクリームも、すべて desserts である。	

shaved ice		かき氷
英語らしい音を出すコツ	shavedはvとdをつなげて発音。-edのあとで切らずにiceへ続けて、シェイ-v-ダイスのように発音。	
文法的な注意事項	数えられない名詞。	
文化的な情報、応用表現など	shave は「薄く削る」。shaved は過去分詞で「薄く削られた」の意味。鰹節を削るときやひげ剃りと同じ動詞。	

指導の手引き 1 食べ物④

pizza		ピザ
英語らしい音を出すコツ	「ピザ」よりも「ピツツア」。	
文法的な注意事項	pie と同様、丸ごとなら数えられる名詞だが、好き嫌いを伝えるときには数えない名詞として使うのが普通。	
文化的な情報、応用表現など	もともとはイタリア語。I want to order pizza. 「ピザの出前を頼みたい」	

hamburger	語の最初にアクセント。	ハンバーガー
英語らしい音を出すコツ	最初の ham- は「ヘアム」。真ん中の「バー」は、口をあまり広く開けずに「ヘアムブゥアーガ」のように発音する。最後の「ガ」はアクセントがないので「グア」と聞こえるような曖昧な音。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。	
文化的な情報、応用表現など	元来はドイツの都市 Hamburg の形容詞 Hamburger から来ているので、ハンバーグという料理の英語名は a Hamburger steak が正しい。ハンバーグをはさんだサンドイッチがアメリカで広まり hamburger と言うようになった。	

fried chicken	fried の方を強めに。	フライドチキン
英語らしい音を出すコツ	「チキン」というより「チケン」。	
文法的な注意事項	数えられない名詞。	
文化的な情報、応用表現など	a fried chicken と言うと、ニワトリ一羽を丸ごと揚げたもののように聞こえてしまう。	

snack		スナック
英語らしい音を出すコツ	s は軽く添え「sネック」のように。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。I want to eat snacks. 「スナックを食べたい」	
文化的な情報、応用表現など	正規の食事でない、小腹を満たす間食の意味。写真のような菓子類だけでなく、フライドポテトやサンドイッチなどの軽食をイメージに含んでよい。	

popcorn	pop を強く。	ポップコーン
英語らしい音を出すコツ	最初の po- は「パ」と言うつもりで口を開け「ポ」と発音するとちょうどよい。	
文法的な注意事項	数えられない名詞。	
文化的な情報、応用表現など	一粒ずつ数えない。I like popcorn with coke. 「ポップコーンをコーラを飲みながら食べるのが好き」	

French fries	Fre-と friesの両方を同じくらいの強さのアクセントで。	フライドポテト
英語らしい音を出すコツ	f をきちんと下唇に歯を当てて発音すれば、次の r の音が出しやすい。flies と言えば、ハエのことになる。	
文法的な注意事項	常に複数形。a French fry とは言わない。	
文化的な情報、応用表現など	French fries はアメリカ英語。イギリスではフライドポテトを chips と呼び、ポテトチップは crisps と呼ぶ。オーストラリアとニュージーランドではフライドポテトを hot chips、ポテトチップを chips と呼んで区別する。	

指導の手引き 2 飲み物

coffee		コーヒー
英語らしい音を出すコツ	最初のcoは「コ」と言うつもりで口を開け「コ」と発音するとちょうどよい。fの音をしっかりと出す。	
文法的な注意事項	液状のものは数えない。	
文化的な情報、応用表現など		

green tea	green の方を強く。	緑茶
英語らしい音を出すコツ	tの音は、息を強めに吐き出す。	
文法的な注意事項	液状のものは数えない。	
文化的な情報、応用表現など		

tea		紅茶
英語らしい音を出すコツ	tの音は、息を強めに吐き出す。	
文法的な注意事項	液状のものは数えない。	
文化的な情報、応用表現など	紅茶をblack tea と呼ぶこともある。	

mineral water	最初の mi-を強く。	ミネラルウォーター
英語らしい音を出すコツ	「ミヌルル」のように発音。アメリカ英語では「water」を「ワーラ」のように発音する人もいるが、必ずしもまねしなくてよい。	
文法的な注意事項	液状のものは数えない。	
文化的な情報、応用表現など		

soda pop	sodaの方をやや強く。	ソーダ
英語らしい音を出すコツ	唇を丸めて「ソウダ」と発音する。popのpoは「パ」と言うつもりで口を開け「ポ」と発音するとちょうどよい。	
文法的な注意事項	液状のものは数えない。	
文化的な情報、応用表現など	アメリカでは炭酸入りの甘いノンアルコール飲料のこと。他の英語圏で soda と言えば、酒類を割る味をつけない炭酸水 carbonated water のこと。	

juice		ジュース
英語らしい音を出すコツ	最初の j に力を込めて。	
文法的な注意事項	液状のものは数えない。	
文化的な情報、応用表現など	果汁100%のものだけを juice と呼ぶ。	

milk		ミルク
英語らしい音を出すコツ	lの発音は日本語の「る」のように舌先を弾かず、上の歯裏に当てて「ウ」のような暗い音を出す。「ミウク」に聞こえる。	
文法的な注意事項	液状のものは数えない。	
文化的な情報、応用表現など		

指導の手引き 3 フルーツ＆野菜①

apple	りんご
英語らしい音を出すコツ	「ア」よりも「エア」。この「も」、「ウ」に聞こえる暗い「ウ」。「エアポウ」のように聞こえる。
文法的な注意事項	数えられる名詞。数えるときや好き嫌いを伝えるときには複数形にする。
文化的な情報、応用表現など	

banana	中央の na にアクセント。	バナナ
英語らしい音を出すコツ	最初の ba は軽く、真ん中の na は「ネー」のように、強く長く。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。数えるときや好き嫌いを伝えるときには複数形にする。	
文化的な情報、応用表現など		

orange	最初の o にアクセント。伸ばして発音する。	オレンジ
英語らしい音を出すコツ	最初の o は「ア」と言うつもりで口を開け「オー」と発音するとちょうどよい。真ん中の a は「レ」よりも「リ」。「オーリンジ」。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。数えるときや好き嫌いを伝えるときには複数形にする。	
文化的な情報、応用表現など	日本のミカンは tangerine 「テアンジャリーン」、語頭にアクセントがある。	

peach	もも
英語らしい音を出すコツ	語頭の p は呼気をはっきり強めに出すと英語らしさが出る。
文法的な注意事項	数えられる名詞。数えるときや好き嫌いを伝えるときには複数形にする。
文化的な情報、応用表現など	

strawberry	いちご
英語らしい音を出すコツ	最初の str は「すとろ」にならないよう注意。最初の str がひとかたまりにくついているように発音する。練習は次のように：① rawberry, rawberry, strawberry とリズミカルに、raw にアクセントを置き同じ拍で繰り返す。「とろ」よりも「ちゅろ」に近い音で。② strawberry, strawberry, strawberry とリズミカルに同じ拍で繰り返す。s は軽く添えるだけ。
文法的な注意事項	数えられる名詞。数えるときや好き嫌いを伝えるときには strawberries と複数形にする。
文化的な情報、応用表現など	

pineapple	パイナップル
英語らしい音を出すコツ	apple の語尾の -le 同じで、l の音は舌先を上の歯の裏に押し当てて「ウ」のような暗い音を出す。「パイナポウ」のように聞こえる。
文法的な注意事項	数えられる名詞だが、好き嫌いを伝えるときには数えられない名詞として、a をつけず複数形にもせずに使う。I like pineapple.
文化的な情報、応用表現など	pine は松のこと。形がマツカサに似ているということで pine と apple をつなげた英語名がついた。I like pineapples. と言うと丸ごといくつも食べるような意味になってしまう。

grapes	ぶどう
英語らしい音を出すコツ	語尾の ps の音をひとかたまりのように発音する。
文法的な注意事項	一粒ずつ話題にすることはあまりないので、通常、複数形で用いると考えてよい。写真にも複数形でつづりを添えてある。
文化的な情報、応用表現など	

指導の手引き 3 フルーツ＆野菜②

cherry	さくらんぼ
英語らしい音を出すコツ	rの音は、舌の先が上の歯茎にあたらないように注意する。
文法的な注意事項	数えられる名詞。写真はひとつなので、つづりは単数で示した。数えるときや好き嫌いを伝えるときには複数形にして cherries とつづる。
文化的な情報、応用表現など	サクラの木も花も cherry なので、区別するために木は cherry tree, 花は cherry blossoms と呼ぶのが普通。

lemon	レモン
英語らしい音を出すコツ	I の発音は舌先を上の歯裏に当てる。語頭は暗い音でない。後ろの -on はアクセントがないので、「レマン」「レムン」「レモン」のどれにも聞こえるような曖昧な音でよい。
文法的な注意事項	数えられる名詞。数えるときや好き嫌いを伝えるときには複数形にする。
文化的な情報、応用表現など	lemon は、日本語では爽やかさの象徴のようなイメージがあるが、英語には、レモンの皮のようにでこぼこなもの、酸っぱいレモンのように顔をしかめさせる厄介なものという、あまりよくないイメージがある。

watermelon	wa にアクセントがある。	すいか
英語らしい音を出すコツ	「ワータメロン」のように発音する。アメリカ英語では「water」を「ワー」のように発音する人もいるが、必ずしもまねしなくてよい。	
文法的な注意事項	数えられる名詞だが、好き嫌いを伝えるときには数えられない名詞として、a をつけず複数形にもせずに使う。I like watermelon.	
文化的な情報、応用表現など	欧米の人たちには丸いスイカよりもラグビーボールのような楕円形がなじみ深い。I like watermelons. と言うと、一度にいくつも丸ごと食べるような意味になってしまう。	

melon	メロン
英語らしい音を出すコツ	I の発音は舌先を上の歯裏に当てる。語尾でないので暗い音ではない。後ろの -lon はアクセントがないので、「メラン」「メルン」「メロン」のどれにも聞こえるような曖昧な音でよい。
文法的な注意事項	数えられる名詞だが、好き嫌いを伝えるときには数えられない名詞として、a をつけず複数形にもせずに使う。I like melon.
文化的な情報、応用表現など	I like melons. と言うと一度にいくつも丸ごと食べるような意味になる。

kiwi fruit	最初の ki にアクセントがある。	キウイフルーツ
英語らしい音を出すコツ	語尾が「ツ」にならないよう注意する。t の音で息を止めて終わる。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。数えるときや好き嫌いを伝えるときには複数形にする。	
文化的な情報、応用表現など	kiwifruit と一語に綴ることもある。kiwi だけでこのフルーツを指すことがあるが、ニュージーランド人は認めない。もともと、kiwi は鳥の名前であり、また、その鳥にちなんだニュージーランド人のニックネームである。ある輸出業者が思いついてこのフルーツを kiwifruit と名付けたのは、20世紀中頃のことだった。	

nuts	ナッツ
英語らしい音を出すコツ	uでつづる「ア」の音は、口の中央で軽く発音する。日本語の「あ」に近い音。
文法的な注意事項	一粒ずつ話題にすることはあまりないので、通常は複数形で用いると考えてよい。写真にも複数形でつづりを添えてある。
文化的な情報、応用表現など	一般的に木の実全般をこう呼ぶ。さまざまな種類がある。

指導の手引き 3 フルーツ＆野菜③

lettuce	最初の <i>le-</i> にアクセント。	レタス
英語らしい音を出すコツ	アクセントのない <i>u</i> は軽い「ア」にも「ウ」にも聞こえる曖昧な音。	
文法的な注意事項	まるごとなら数えられる名詞。食材として好き嫌いを伝えるときなどには、数えない名詞として使うのが普通。My brother likes lettuce.	
文化的な情報、応用表現など	ペアトリクス・ポターの『Peter Rabbit』の物語では、うさぎのピーターがマクレガーさんの畑で、いくつものレタスを食べた (he ate some lettuces) という記述がある。	

mushroom	<i>mush-</i> にアクセント。	きのこ
英語らしい音を出すコツ	<i>u</i> でつづる「ア」の音は、口の中央で軽く発音する。日本語の「あ」に近い音。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。数えるときや好き嫌いを伝えるときには複数形にする。	
文化的な情報、応用表現など	日本ではマッシュルームというと特定の種類を指すが、あらゆる種類のキノコが mushrooms である。シイタケは shiitake mushrooms と言えば理解される。	

onion	最初の <i>o</i> にアクセント。	たまねぎ
英語らしい音を出すコツ	最初の <i>o</i> は「ア」の口の形のまま「オ」と発音する。「オニオン」より「アニアン」と聞こえる。	
文法的な注意事項	数えられる名詞だが、好き嫌いを伝えるときには数えない名詞のように使う。	
文化的な情報、応用表現など	食べるときには丸ごといくつも食べることはないだろう。料理の材料に入っているものは、a もつけず複数形にもしない。	

cabbage	最初の <i>ca-</i> にアクセント。	キャベツ
英語らしい音を出すコツ	「キャベジ」ではなく「ケアビジ」。語尾は舌先を歯の裏につけて「ジ」と発音する。	
文法的な注意事項	数えられる名詞だが、好き嫌いを伝えるときには数えない名詞のように使う。	
文化的な情報、応用表現など	食べるときには丸ごといくつも食べることはないだろう。料理の材料に入っているものは、a もつけず複数形にもしない。	

carrot	最初の <i>ca-</i> にアクセント。	にんじん
英語らしい音を出すコツ	「キャロット」ではなく「ケアロト」。語尾は舌先を歯の裏につけて <i>t</i> で呼気を止める。複数形は「ケアロツ」。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。数えるときや好き嫌いを伝えるときには複数形にする。	
文化的な情報、応用表現など	アメリカの子どものお弁当に、ニンジンが丸ごと 1 本入っているのは自然なこと。生で丸かじりする。	

corn		とうもろこし、コーン
英語らしい音を出すコツ	「コーン」とただ伸ばす音だけでも理解されるが、アメリカ英語では <i>or</i> は「オー」の後半で舌を巻き気味にする。また、語尾の <i>n</i> は、上の歯の裏に舌先をしっかりとつけて発音する。	
文法的な注意事項	通常、corn には <i>a</i> をつけたり corns と複数形になることはない。rice に粒がいくつあるか気にしないのと同様。	
文化的な情報、応用表現など	corn はアメリカではトウモロコシ、イギリスでは製粉するための穀類全般を指す。イギリス英語ではトウモロコシを意味する maize (メイズ) という語がある。	

指導の手引き 3 フルーツ＆野菜④

cucumber	最初の cu- にアクセント。	きゅうり
英語らしい音を出すコツ	二つ目の cu は軽い「ア」。「キューカムブア」のように、語尾の ber は曖昧に発音する。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。数えるときや好き嫌いを伝えるときには複数形にする。	
文化的な情報、応用表現など	寿司の「カッパ巻き」は a cucumber sushi roll と言えばよい。sushi roll は「のり巻き」のこと。	

tomato	ma- にアクセント。	トマト
英語らしい音を出すコツ	アメリカ英語では「タメイトウ」と発音する。語頭の「タ」はアクセントがないので、口をあまり開けない曖昧な音でよい。イギリス、オーストラリア、ニュージーランドでは「タマアトウ」。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。数えるときや好き嫌いを伝えるときには複数形にする。複数形は tomatoes と、-es を添える。	
文化的な情報、応用表現など		

broccoli	bro- の o にアクセント。「ア」の口の形のまま「オ」。	ブロッコリー
英語らしい音を出すコツ	「ア」の口の形のまま「オ」。語頭の b と r はつなげて発音する。loccoli, loccoli, loccoli, broccoli とリズミカルに練習するとよい。	
文法的な注意事項	丸ごとなら数えられる名詞。食材として好き嫌いを伝えるときなどには、数えない名詞として使うのが普通。My sister don't like broccoli.	
文化的な情報、応用表現など		

potato	真ん中の ta にアクセント。	じゃがいも
英語らしい音を出すコツ	「ポテイトウ」と発音する。語頭の「ボ」はアクセントがないので、口をあまり開けない曖昧な音でよい。	
文法的な注意事項	複数形は potatoes と、-es を添える。	
文化的な情報、応用表現など	サツマイモは sweet potatoes。	

green pepper	pep を強く。	ピーマン
英語らしい音を出すコツ	「ペッパー」ではなく「ペペ」。	
文法的な注意事項	bell pepper または capsicum とも呼ぶ。	
文化的な情報、応用表現など	green pepper も paprika も、同じ種類の野菜。	

radish	最初の ra にアクセント。	はつかだいこん、ラディッシュ
英語らしい音を出すコツ	ra- は「レ」というつもりの口のまま「ラ」と言う。この語は r で始まるので、舌先は歯につけて、唇を突き出すようにしてから ra- と発音する。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。数えるときや好き嫌いを伝えるときには複数形にする。	
文化的な情報、応用表現など	日本のダイコンのように白くて長いもの、また、赤くて短いものもある。	

指導の手引き 4 数①～④

one		1
英語らしい音を出すコツ	日本人の多くが最後の n の音を舌先を離した状態で発音するが、しっかりと上の歯茎に押しつけて「ワンヌ」と言うぐらいのつもりで。n を長く発音するとコツがつかめる。	
文化的な情報、応用表現など	「本が 1 冊」のような言い方は英語ではなく、one book, two books のように、名詞の前に数詞を置く言い方が普通。慣れる必要がある。	
two		2
英語らしい音を出すコツ	舌先を上の歯茎につけて t の音を出す。「ツー」にならないように注意する。	
three		3
英語らしい音を出すコツ	舌先を上下の歯の間に軽く挟み th を発音する。	
four		4
英語らしい音を出すコツ	上の歯を下唇に当てて f を発音する。	
five		5
英語らしい音を出すコツ	上の歯を下唇に当てて f と v を発音する。	
six		6
英語らしい音を出すコツ	「シ」でなく「スイ」になるよう注意。	
seven	最初の se- にアクセント。	7
英語らしい音を出すコツ	下唇に歯を当て、v の音を b にしないようにしっかりと出す。v と n はつなげて。語尾の n は one と同じように、しっかりと。	
eight		8
英語らしい音を出すコツ	語尾の t の発音は carrot の t と同じで、舌先を歯の裏に当てて、そこで止める。	
nine		9
英語らしい音を出すコツ	語尾の ne の発音は one と同じ。上の歯の裏に舌をつけて「ン」のまま伸ばすように発音する。	
ten		10
英語らしい音を出すコツ	語尾の n の発音は one と同じ。上の歯の裏に舌をつけて「ン」のまま伸ばすように練習するとよい。	
eleven	-lev- にアクセント。	11
英語らしい音を出すコツ	下唇に歯を当て、v の音を b にしないようにしっかりと出す。v と n はつなげて。語尾の vn は seven と同じ音。	
文化的な情報、応用表現など	あのコンビニエンスストアチェーンの名前は、vn の音が韻を踏むので語呂が良いことも命名の理由と言われる。	
twelve		12
英語らしい音を出すコツ	真ん中の i は「ウ」に近い音。日本語の「る」のように舌を弾かずに、上の歯の裏に押しつけて発音する。この i と v はつなげて発音する。	
thirteen	teen にアクセント。	13
英語らしい音を出すコツ	最初の th- は舌の先を上下の歯で挟んで発音する。ir は口を広げず両唇の間から出す「アー」にも「アーチ」にも聞こえる曖昧な音。語尾の n を、舌先を上の歯の裏に押しつけて長めに発音すれば、thirty と混同されない。	
fourteen	teen にアクセント。	14
英語らしい音を出すコツ	最初の f を、下唇に上の歯を当てて出す。語尾の n を、舌先を上の歯の裏に押しつけて長めに発音すれば、forty と混同されない。	
fifteen	teen にアクセント。	15
英語らしい音を出すコツ	2つの f の音を、下唇に上の歯を当てて出すこと。語尾の n を、舌先を上の歯の裏に押しつけて長めに発音すれば、fifty と混同されない。	

sixteen	teen にアクセント。	16
英語らしい音を出すコツ	「シ」でなく「スイ」になるよう注意。語尾の n を、舌先を上の歯の裏に押しつけて発音すれば、sixtyと混同されない。	
seventeen	teen にアクセント。	17
英語らしい音を出すコツ	下唇に歯を当て、v の音を b にしないようにしっかりと出す。vとnはつなげて。語尾の n を、舌先を上の歯の裏に押しつけて発音すれば、seventy と混同されない。	
eighteen	teen にアクセント。	18
英語らしい音を出すコツ	語尾の n を、舌先を上の歯の裏にしっかりとつけて発音すれば、eighty と混同されない。	
nineteen	teen にアクセント。	19
英語らしい音を出すコツ	語尾の n を、舌先を上の歯の裏にしっかりとつけて発音すれば、ninety と混同されない。	
twenty	e にアクセント。	20
英語らしい音を出すコツ	「トエンティ」でなく「トゥエンティ」と発音。語尾の y は軽く発音する。	
文化的な情報、応用表現など	アメリカ人の中には「トゥエニイ」と発音する人もいるが、その発音でなければアメリカ人に理解されないわけではない。この語尾の ty の t は軽く発音すればよい。	
thirty	ir にアクセント。	30
英語らしい音を出すコツ	最初の th- は舌の先を上下の歯で挟んで発音する。ir は、thirteen と同様、口を広げず両唇の間から出す「ウー」にも「アー」にも聞こえる曖昧な音。語尾の y は軽く発音する。	
文化的な情報、応用表現など	アメリカ人の中には「サーリイ」と発音する人もいるが、その発音でなければアメリカ人に理解されないわけではない。この語尾の ty の t は軽く発音すればよい。	
forty	or にアクセント。	40
英語らしい音を出すコツ	最初の f を、下唇に上の歯を当てて出す。語尾の y は軽く発音する。	
文化的な情報、応用表現など	アメリカ人の中には「フォーリイ」と発音する人もいるが、その発音でなければアメリカ人に理解されない訳ではない。この語尾の ty の t は軽く発音すればよい。	
fifty	i にアクセント。	50
英語らしい音を出すコツ	2つの f の音を、下唇に上の歯を当てて出すこと。語尾の y は軽く発音する。	
sixty	i にアクセント。	60
英語らしい音を出すコツ	「シ」でなく「スイ」になるよう注意。語尾の y は軽く発音する。	
seventy	最初の se にアクセント。	70
英語らしい音を出すコツ	下唇に歯を当て、v の音を b にしないようにしっかりと出す。vとnはつなげて。語尾の t は 軽く発音する。	
文化的な情報、応用表現など	アメリカ人の中には「セヴニイ」と発音する人もいるが、その発音でなければアメリカ人に理解されないわけではない。この語尾の ty の t は軽く発音すればよい。	
eighty	ei にアクセント。	80
英語らしい音を出すコツ	語尾の t は 軽く発音する。	
文化的な情報、応用表現など	アメリカ人の中には「エイリイ」と発音する人もいるが、その発音でなければアメリカ人に理解されないわけではない。この語尾の ty の t は軽く発音すればよい。	
ninety	i にアクセント。	90
英語らしい音を出すコツ	語尾の t は 軽く発音する。	
文化的な情報、応用表現など	アメリカ人の中には「ナイニイ」と発音する人もいるが、その発音でなければアメリカ人に理解されないわけではない。この語尾の ty の t は軽く発音すればよい。	
hundred	u にアクセント。	100
英語らしい音を出すコツ	u でつづる「ア」の音は、口の中央で軽く発音する。日本語の 「あ」に近い音。	
文法的な注意事項	100 は one hundred 、200は two hundred。two がついても hundreds にならない。	
zero	e にアクセント。	0
英語らしい音を出すコツ	「ズイーロウ」または「ズィアロウ」。	

指導の手引き 5 教科①②

arts and crafts	artsとcraftsの両方にアクセント。 andは軽く、「アーツ・ン・クラフツ」のように発音する。 文化的な情報、応用表現など 絵を描くこと自体は drawing (ペン画、クレヨン画、鉛筆画) や painting (水彩画、油絵) である。	図画工作 (図工)
calligraphy	2番目の i にアクセント。 ph は f の音。 日本、中国、韓国など、東アジアの calligraphy は、筆 (brush) と墨を使う点が共通する。墨は India ink または Indian ink、または Chinese ink と呼ぶ。欧米の言語やアラビア語でもペンによる calligraphy がある。	書写 (書道)
English	最初の E にアクセント。 I の音は上の歯の裏に舌先をしっかりと押し当てるか、確認する。	英語
home economics	最初の home と、まん中の no の 2か所にアクセント。 「ホーム」でなく「ホウム」。Home の m と economics がつながって「ホーミカノミクス」と聞こえるときもある。真ん中の no は、「ナ」を言うときの口の形で「ノ」を発音する。ecoはアクセントをおかず軽めに、「イカナーミクス」と言うぐらいのつもりで。 文法的な注意事項 economics とは「経済」のこと。 文化的な情報、応用表現など 英語圏では家庭科は置かない国もあり、置いても選択科目だったりする。homemaking (家庭の運営を行うこと) や family studies という言い方もすることがある。	家庭科
Japanese	後の -ese にアクセント。	国語
math	math の a は、apple の a と同じで「エ」の口の形をして「ア」と言う。th は舌の先を上下の歯で挟んで発音する。 文法的な注意事項 mathematics の略語。(強いアクセントは後の ma) 文化的な情報、応用表現など 小学校科目の算数も、中学校高校の数学も、英語では mathematics である。Arithmetic 「計算、算術」は、加減乗除だけを指す語。図形なども含む小学校の「算数」は mathematics (math) と呼ぶのがふさわしい。	算数 (数学)
music	「ミュージック」ではなく「ミューズィク」。 楽器は musical instrument。	音楽
moral education	mo と ca の 2か所にアクセント。 moral の r と i の区別をする。r は舌先が歯に触れないが i は上の歯の裏について「ウ」のように聞こえる。 文法的な注意事項 education は「教育」。 文化的な情報、応用表現など 英語圏にこの科目はない。citizenship 「市民教育」という科目が近い。	道德
P. E.	P にも E にもアクセント。 文法的な注意事項 Physical education という英語の頭文字を取った略称。 文化的な情報、応用表現など 日本語の「体育」はこれを直訳したもの。	体育
science	最初の i にアクセント。 e にはアクセントがないので、口をあまり開けずに発音。 science は「科学」とも訳す。小・中・高の科目としての「理科」も science である。	理科
social studies	両方にアクセント。 英語らしい音を出すコツ 「ソーシャル」ではなく「ソウシャル」。 文法的な注意事項 social は形容詞。元の名詞は society。 文化的な情報、応用表現など 小学校の教科では social studies の中に歴史や地理も含むが、それぞれ history, geography である。	社会

指導の手引き 6 学校①②

classroom	classにアクセント。	教室
英語らしい音を出すコツ	I の音は上の歯の裏に舌先を押し当てる。この a は「エ」の口の形で「ア」。	
文法的な注意事項	classroom で 1 語。2 語に綴らない。	
文化的な情報、応用表現など	class は一緒に授業を受けるグループの児童・生徒たちのことだけでなく、授業そのものも指す。 Let's read this book at next class. 「次の授業でこの本を読みましょう」。イギリス、オーストラリア、ニュージーランドでは「クラス」と発音する。	

computer room	pu にアクセント。	パソコン室、コンピュータ室
英語らしい音を出すコツ	「コ」の口の形のまま「カ」と言うような音。-room は I (エル) の発音にならないよう、舌の先が歯に触れないことを確かめる。	

cooking room	cookにアクセント。	調理室
英語らしい音を出すコツ	oo の音は、唇をしっかり突き出して。room の r は、舌が歯に触れないように。	
文化的な情報、応用表現など	学校によっては家庭科室と呼ぶ教室でも、そこに調理実習の設備があるなら、cooking room と呼んでもよい。また、給食の調理室を指すこともできる。	

entrance	en にアクセント。	玄関、昇降口
英語らしい音を出すコツ	t と r の間をつなげて、「チュラ」に近い音でもよい。	
文法的な注意事項	動詞の enter から来ている語。「入り口」。	
文化的な情報、応用表現など	職員用も entrance だが、teachers' entrance、児童の昇降口は students' entrance と呼んでもよい。	

gym		体育館
英語らしい音を出すコツ	m の音は、両唇を閉じてしっかりと出す。	
文法的な注意事項	gymnasium 「ジムネイズィアム」を略した語。	

library	最初の i にアクセント。	図書館（図書室）
英語らしい音を出すコツ	最初の i と真ん中の r を区別して発音する。	
文化的な情報、応用表現など	学校の図書室も、町の図書館も library である。学校のものを区別するなら school library と呼んでよい。	

playground	play-にアクセント。	校庭
英語らしい音を出すコツ	play の i は舌先が上の歯の裏につくように。しかし ground の r は、舌先が歯に触れないように。	
文法的な注意事項	1 語につづる。	
文化的な情報、応用表現など	文字通り「遊び場」なので、幼稚園や小学校ではこれでよいが、中学校・高校の校庭は school yard と呼ぶ。	

rest room	rest にアクセント。	トイレ
英語らしい音を出すコツ	r は舌が歯に触れないように。	
文法的な注意事項	rest は「休憩、休息」。	
文化的な情報、応用表現など	家庭のトイレは bathroom と呼ぶことが多い。トイレと風呂場が一緒になっている構造が一般的だからである。	

principal's office	prin-にアクセント。	校長室
英語らしい音を出すコツ	r は舌が歯に触れないように。I (エル) は舌先が上の歯の裏につくように。principal の pal はアクセントがない a なので、あまり口を開けずに発音すればよい。office の o は「ア」の口で「オ」。	
文化的な情報、応用表現など	英語圏の校長室のドアには、Principal とだけ書いてあることが多い。	

school nurse's office	school の方が強めのアクセント。	保健室
英語らしい音を出すコツ	nurse の ur は両唇の間を狭めて、「ウー」「アー」「エー」のどれにも聞こえるような、あいまいな発音をする。	
文化的な情報、応用表現など	養護教諭は看護師ではないが、英語圏に養護教諭の制度がない。school nurse という職が最も近いため、ここでは使っている。	

指導の手引き sheet_number 7 文ぼう具①

crayon	ray にアクセント。	クレヨン
英語らしい音を出すコツ	r は舌が歯に触れないように。「クレヨン」ではなく「クレイヤン」。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。Do you have a red crayon? 「赤いクレヨン持っている？」	
文化的な情報、応用表現など	クレパスは商品名（登録商標）。	

eraser	ra- にアクセント。	消しゴム
英語らしい音を出すコツ	r は舌が歯に触れないように。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。erase は「消す」。erase + er 「消すもの」。	
文化的な情報、応用表現など	⇒ calligraphy (5 教科①) 参照。	

glue stick	glue にアクセント。	ステイックのり
英語らしい音を出すコツ	ue は、唇をしっかり突き出すこと。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。stick は「棒状のもの」	
文化的な情報、応用表現など	glue だけでも「糊」。	

ink	最初の i にアクセント。	インク
英語らしい音を出すコツ	「ン」が強くならないように。	
文法的な注意事項	数えられない名詞。	
文化的な情報、応用表現など		

marker		サインペン、マーカー
英語らしい音を出すコツ	「マーカ」でよい。最後の「カ」はアクセントがないので「クア」と聞こえるような曖昧な音。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。mark 「印を付ける」から。mark + er 「印を付けるもの」。	
文化的な情報、応用表現など	サインペンは商品名（登録商標）。蛍光ペンは highlighter 「ハイライタ」と呼ぶ。highlight は high + light で、「目立たせる」の意味。	

notebook	note にアクセント。	ノート
英語らしい音を出すコツ	「ノー」でなく、「ノウ」。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。	
文化的な情報、応用表現など	note だけでは意味が違う。メモや短い手紙のこと。	

pen		ペン
英語らしい音を出すコツ	語尾の n の発音は one や ten と同じ。上の歯の裏に舌をつけて「ン」のまま伸ばし、粘るように発音するとよい。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。	
文化的な情報、応用表現など		

pencil	pen- にアクセント。	えんぴつ
英語らしい音を出すコツ	最後の i は舌先を弾くのではなく「ペヌスウ」のように、舌を上の歯の裏につけて、暗い感じの「ウ」に近い音を出す。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。	
文化的な情報、応用表現など	シャーペンシル、いわゆるシャーペンは、propelling pencil または mechanical pencil と言う。動詞 propel は「前進させる」の意味。昔の飛行機についていたのが propeller (プロペラ)。	

指導の手引き sheet_number 7 文ぼう具②

pencil case	pen- にアクセント。	ペンケース、筆箱
英語らしい音を出すコツ	「ケース」でなく「ケイス」。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。	
文化的な情報、応用表現など		

pencil sharpener	pen- と shar- にアクセント。	えんぴつ削り
英語らしい音を出すコツ	sharpener の p と n はつなげて発音。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。	
文化的な情報、応用表現など	sharp は形容詞「鋭い」。Sharp + en で動詞「とがらせる」 ⇒ sharpen + er 「鋭くするもの」	

ruler	ru- にアクセント。	定規、ものさし
英語らしい音を出すコツ	r は舌が歯に触れないように。l は舌先が上の歯の裏に付くように。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。	
文化的な情報、応用表現など	rule は動詞。「まっすぐにする、糸す」。転じて「定規」になった。	

stapler	ta- にアクセント。	ホッチキス
英語らしい音を出すコツ	s と t をつなげて発音する。練習は tapler, tapler, tapler, stapler と、リズミカルに3回言つてそのまま stapler と続けるとよい。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。	
文化的な情報、応用表現など	ホッチキスは、この道具を最初に製造した会社の名 (E. H. Hotchkiss) だとのこと。	

scissors	最初の i にアクセント。	はさみ
英語らしい音を出すコツ	「スイザズ」と発音。「ザ」はアメリカ英語では舌の丸めを伴う、「ザ」と「ズ」の間のような、曖昧な音として発音する。これは真似できなくても良い。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。しかし常に複数形。-s を付けて使う。正確には These are my scissors. 「これは私ののはさみです。」 Those are your scissors. 「あれがあなたのはさみです。」	
文化的な情報、応用表現など	児童にとっては、複数形だと意識して使いこなすことは難しいが、教員は児童に英語らしい英語を聞かせる努力をするとよい。	

指導の手引き sheet_number 8 学校行事①②

entrance ceremony	どちらの語も最初にアクセント。	入学式
英語らしい音を出すコツ	entrance は、tとrの間をつなげて、「チュラ」のように使ってよい。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。	
文化的な情報、応用表現など	入学式は小学校時代に一度しかないので、普通は the を付け、the entrance ceremony と言う。	

field trip	field にアクセント。	遠足、野外実習
英語らしい音を出すコツ	field のlとdは舌の位置が同じ。lは日本語の「る」のようには弾かない。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。	
文化的な情報、応用表現など	遠足は年に2回はあるだろうから、普通、これから行く場合は a field trip と言うが、済んだ遠足を話題にしているときは the field trip と呼ぶ。	

school trip	school にアクセント。	修学旅行
英語らしい音を出すコツ	oo の音は、唇をしっかりと突き出して「ウー」。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。	
文化的な情報、応用表現など	修学旅行は、小学校なら一度しかないので、the を付けて言うのが普通。	

swimming meet	どちらの語にもアクセント。	水泳大会
英語らしい音を出すコツ	日本語の「スイミング」にならないよう、sのあととのwは、しっかりと唇を突き出す。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。	
文化的な情報、応用表現など	年中行事で年に一度だと考えて、the を付けて言う。	

sports festival	どちらの語にもアクセント。	運動会
英語らしい音を出すコツ	festival の語尾のlは「ウ」に近い音。「フェスティボウ」に聞こえてよいが、lの舌先は歯の裏に押しつける。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。	
文化的な情報、応用表現など	年中行事で年に一度だと考えて、the を付けて言う。	

music festival	どちらの語にもアクセント。	音楽祭
英語らしい音を出すコツ	「ミュージック」ではなく「ミューズィク」。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。	
文化的な情報、応用表現など	年中行事で年に一度だと考えて、the を付けて言う。	

drama festival	ra にアクセント。	演劇祭
英語らしい音を出すコツ	日本語の「ドラマ」のように「ド」を強くしない。「ジュラマ」のように聞こえてもよい。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。	
文化的な情報、応用表現など	年中行事で年に一度だと考えて、the を付けて言う。	

volunteer day	-teer にアクセント。	ボランティア活動
英語らしい音を出すコツ	最初のvは下唇にしっかりと歯を当てる。「ヴァ」と言いくらい広い口の形で「ヴォ」と言う。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。	
文化的な情報、応用表現など	年中行事で年に一度だけの小学校では、the を付けて言う。何度もある小学校なら a を付けたり、volunteer days と言ったりする。	

graduation ceremony	-ation にアクセント。	卒業式
英語らしい音を出すコツ		
文法的な注意事項	数えられる名詞。	
文化的な情報、応用表現など	卒業式は小学校時代に一度しかないので、普通は the を付け、the graduation ceremony と言う。	

指導の手引き 9 し設・乗り物①

amusement park	mu にアクセント。 英語らしい音を出すコツ 文法的な注意事項 文化的な情報、応用表現など	遊園地
	ment の e にはアクセントがないので、「マント」「メント」「ムント」のいずれにも聞こえる曖昧な音でよい。	
	数えられる名詞。母音で始まる語なので単数であれば an を付ける。	

aquarium	真ん中の a にアクセント。 英語らしい音を出すコツ 文法的な注意事項 文化的な情報、応用表現など	水族館
	「エイ」の音をしっかりと出す。	
	数えられる名詞。	
	学級でオタマジヤクシを飼育するような水槽も aquarium と呼ぶ。	

supermarket	最初の su- にアクセント。 英語らしい音を出すコツ 文法的な注意事項 文化的な情報、応用表現など	スーパーマーケット
	-per のところにはアクセントがないので、口をあまり開かずに弱く発音する。-marketは「マーケット」というよりも「マーキット」のように。	
	数えられる名詞。	

park	公園
英語らしい音を出すコツ	アメリカ英語では「アー」の音に、舌をそらせて r の音を響かせる。
文法的な注意事項	数えられる名詞。
文化的な情報、応用表現など	イギリス英語では a car park は駐車場。アメリカ英語では a parking lot と呼ぶ。駐車場の入り口の P の文字は parking を示している。また、a ballpark は野球場のこと。

flower shop	生花店、花屋
英語らしい音を出すコツ	shop の o も「ア」の口の形のまま「オ」。
文法的な注意事項	数えられる名詞。
文化的な情報、応用表現など	

street	通り
英語らしい音を出すコツ	str をつなげ、1 つのかたまりのように発音する。「スチュリート」に近い響き。
文法的な注意事項	数えられる名詞。
文化的な情報、応用表現など	「道」だが、両側に家や商店がある、街路のこと。

house	家
英語らしい音を出すコツ	語尾の s の音に u がつかないように。
文法的な注意事項	数えられる名詞。
文化的な情報、応用表現など	公共の建物も house と呼ぶことがある。

指導の手引き 8 し設・乗り物②

restaurant	re- にアクセント。	レストラン、食堂
英語らしい音を出すコツ	語尾の t は舌先を上の歯の裏に当てる。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。	
文化的な情報、応用表現など	外来語のレストランにつられて最後の t を発音しないのは誤り。	

hospital	hos- にアクセント。	病院
英語らしい音を出すコツ	hos- の o も「ア」の口の形のまま「オ」。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。	
文化的な情報、応用表現など	hospital は入院設備のあるもの。個人医院は clinic と呼ばれる。	

post office	poにアクセント。	郵便局
英語らしい音を出すコツ	post の o は唇を丸め、「オウ」と発音する。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。	
文化的な情報、応用表現など		

post		ポスト
英語らしい音を出すコツ	post の o は唇を丸め、「オウ」と発音する。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。	
文化的な情報、応用表現など	アメリカでは mailbox と呼ぶ。	

convenience store	ve- と sto- にアクセント。	コンビニエンスストア
英語らしい音を出すコツ	語頭の con- は弱くてよい。ve は伸ばす。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。	
文化的な情報、応用表現など		

bookstore	boo-にアクセント。	書店
英語らしい音を出すコツ	store は「ストア」ではなく s と t をひとかたまりとして発音する。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。	
文化的な情報、応用表現など	1語としてつづる。イギリスでは bookshop と呼ぶこともある。	

department store	par-とsto-にアクセント。	デパート、百貨店
英語らしい音を出すコツ	ment の e にはアクセントがないので、「マント」「メント」「ムント」のいずれにも聞こえる曖昧な音でよい。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。	
文化的な情報、応用表現など	depart だけでは「離れる」の意味。department も「部署」の意味。いろいろな売り場 (department) に分かれている店 (store) なので、このように呼ばれる。	

指導の手引き 9 し設・乗り物③

castle	城
英語らしい音を出すコツ	ca-は「ケ」を言うつもりの口の形で「カ」と言う。tは発音しない。leは舌の先を上の歯の裏に押し当てる「ウ」に近い暗い音。「ケアスウ」と聞こえるように。
文法的な注意事項	数えられる名詞。
文化的な情報、応用表現など	イギリス英語では「カースウ」と発音する。 Himeji Castle is a world heritage site. 「姫路城は世界遺産です」

museum	se-にアクセント。 美術館、博物館
英語らしい音を出すコツ	「ミュージアム」でなく「ミュズィーアム」と、アクセントのある se を伸ばして発音する。
文法的な注意事項	数えられる名詞。
文化的な情報、応用表現など	美術館は art museum と呼ぶ。

station	a-にアクセント 駅
英語らしい音を出すコツ	-tion にはアクセントがないので、「ション」と「シャン」のどちらにも聞こえるような弱い音。
文法的な注意事項	数えられる名詞。
文化的な情報、応用表現など	警察署も消防署も station が付く。鉄道の駅とはっきり言いたいときには railway station(イギリス英語) または railroad station (アメリカ英語)。

shrine	神社
英語らしい音を出すコツ	語尾の n を、舌先を上の歯の裏につけ、しっかりと発音する。
文法的な注意事項	数えられる名詞。
文化的な情報、応用表現など	神道 (Shintoism) の神社は、特に Shinto shrine と言うことも多い。Torii is the gate for a Shinto shrine. 「鳥居とは神社の門のことです」

zoo	動物園
英語らしい音を出すコツ	oo は唇をしっかりと突き出して、長く発音する。
文法的な注意事項	数えられる名詞。
文化的な情報、応用表現など	zooという語は、zoology (動物学) から。

temple	寺、寺院
英語らしい音を出すコツ	語尾の le は舌先を上の歯の裏につけて「ウ」のように発音する。
文法的な注意事項	数えられる名詞。
文化的な情報、応用表現など	仏教 (Buddhism) の寺院は他の宗教の寺院と区別して Buddhist temple と呼ぶことが多い。

指導の手引き 9 し設・乗り物④

taxi	タクシー
英語らしい音を出すコツ	ta-は「テ」を言うつもりの口の形で「タ」と言う。語尾は「シー」ではなく「スイ」と軽く発音する。
文法的な注意事項	数えられる名詞。
文化的な情報、応用表現など	アメリカ英語では cab (ケアブ) と呼ぶこともある。

bus	バス
英語らしい音を出すコツ	uで綴る「ア」は、口の真ん中で発音する。日本語のアとほとんど同じ。
文法的な注意事項	数えられる名詞。複数形は buses と綴る。
文化的な情報、応用表現など	

jet	ジェット機
英語らしい音を出すコツ	j は舌先を上の歯茎にしっかりと付けて発音する。
文法的な注意事項	数えられる名詞。
文化的な情報、応用表現など	一般的には、ジェット機もプロペラ機も含めて、airplane または plane と呼ぶ。

fire station	fire にアクセント。	消防署
英語らしい音を出すコツ	「ファイヤー」ではなく「ファイア」。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。	
文化的な情報、応用表現など	消防車は fire engine と呼ぶ。	

police station	police の i にアクセント。	警察署
英語らしい音を出すコツ	「ポリース」と伸ばして発音する。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。	
文化的な情報、応用表現など	police は警察官でなく、警察という組織のこと。	

gas station	両方にアクセント。	ガソリンスタンド
英語らしい音を出すコツ	gas の s と station の s をつなげて発音してよい。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。	
文化的な情報、応用表現など	イギリス英語では petrol station と言うのが一般的。	

指導の手引き 10 職業①

artist	ar-にアクセント。	芸術家
英語らしい音を出すコツ	「アーチスト」ではなく「アーティスト」。語尾のsとtはひとかたまりに。	
文法的な注意事項		
文化的な情報、応用表現など	一般的には彫刻や絵画などを専門とする芸術家を指す。	

astronaut	最初の a にアクセント。	宇宙飛行士
英語らしい音を出すコツ	語尾の naut のところは「ナー」というつもりに口を開いて「ノー」と発音する。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。母音で始まる語なので単数であれば an を付ける。	
文化的な情報、応用表現など		

baker	最初の a にアクセント。	パン屋
英語らしい音を出すコツ	k の音は息を強く吐くように。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。	
文化的な情報、応用表現など	baker はパンを焼く技術者、職人。店は bakery 。	

baseball player	base と player の両方にアクセント。	野球選手
英語らしい音を出すコツ	「ベー」と伸ばす音にならないよう。語尾の l は rice ball の l と同様、舌先を上の歯の裏に押しつけたまま発音する「ウ」に近い音。「ベイスボーウ」。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。	
文化的な情報、応用表現など		

bus driver	bus と driver の両方にアクセント。	バス運転手
英語らしい音を出すコツ	bus の「ア」は、口の真ん中で発音する。日本語のアとほとんど同じ。Driver の dr はひとつのかたまりのように発音する。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。	
文化的な情報、応用表現など		

comedian	me-にアクセント。	コメディアン、お笑い芸人
英語らしい音を出すコツ	最初の co はアクセントがないので軽く。「コメディアン」ではなく「コミディアン」。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。	
文化的な情報、応用表現など	comedy 「喜劇」から来た語。	

cook		調理師
英語らしい音を出すコツ	oo は唇を突き出して、短く発音する。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。	
文化的な情報、応用表現など	chef 「シェフ」はフランス語で料理長の意味。	

dentist	最初の de にアクセント。	歯科医
英語らしい音を出すコツ	語尾の t は舌先を上の歯の裏に当てて、弾かない。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。	
文化的な情報、応用表現など		

指導の手引き 10 職業②

doctor	最初の do-にアクセント。	医者
英語らしい音を出すコツ	「ダ」というつもりで開いた口の形のまま「ド」と発音する。「ド・ク・ター」と3音節にせずに、docとtorの2音節になるように発音する。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。	
文化的な情報、応用表現など	She is a doctor. と言えば「彼女は医者だ」という意味に取るのが普通だが、Dr. Brown のように苗字の前に付けると「ブラウン博士」と言うように、称号になる。	

farmer		農家
英語らしい音を出すコツ	アメリカ英語では「アー」の音に、舌をそらせて r の音を響かせる。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。	
文化的な情報、応用表現など	farmer は農業を職業とする人。農業をする人が住む家は farmer's house と言う。 I see a farmer's house. 「農家が1軒見える」	

fire fighter	両方の fi にアクセント。	消防士
英語らしい音を出すコツ	両方の f は、しっかりと上の歯で下唇をかんで発音する。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。	
文化的な情報、応用表現など	文字通りでは「火事と闘う人」という意味。	

figure skater	fi- と ska- の両方にアクセント。	フィギュアスケート選手
英語らしい音を出すコツ	アメリカ英語では「フィギュア」、イギリス英語では「フィガ」と発音。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。	
文化的な情報、応用表現など	もともと、スケートで滑りながら氷上に図形 (figure) を描く競技だったので、こう呼ばれた。	

flight attendant	fli- と tend の両方にアクセント。	客室乗務員
英語らしい音を出すコツ	f は上の歯で下唇をかんで発音し、l は f の直後に、舌尖を上の歯の裏に押しつけるようする。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。	
文化的な情報、応用表現など	cabin attendant とも言う。	

florist	flo- にアクセント。	花屋
英語らしい音を出すコツ	l が r にならないよう、舌尖を上の歯の裏に押しつけるようする。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。	
文化的な情報、応用表現など	花屋の店主、または店員のこと。店ではない。	

hero	he-にアクセント。	ヒーロー
英語らしい音を出すコツ	イギリス英語では「ヒアロウ」、アメリカ英語では「ヒロウ」と発音する。語尾の o は唇を丸めながら「オウ」と発音する。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。複数形は heroes と綴る。	
文化的な情報、応用表現など	hero とは元来「英雄」のこと。スポーツ界で皆が憧れる選手も hero であり、アニメや映画、ドラマの特撮ヒーローは superhero (su-にアクセント) と呼ぶ。従来は男だけを指す語だったが、現在は男女を問わず用いる。ただし、映画やドラマの主役の男性と女性は、今でも hero, heroine 「ヒロウイン」と呼ぶのが普通。	

king		王様
英語らしい音を出すコツ	ing は、息が鼻へ抜ける音なので、gで止めた息を吐かないこと。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。	
文化的な情報、応用表現など	血統によって受け継がれる君主のこと。ただし日本の天皇の英訳には、emperor を使う。	

指導の手引き 10 職業③

pilot	最初の i にアクセント。	パイロット、操縦士
英語らしい音を出すコツ	i の音は、舌先を上の歯茎に付けて発音する。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。	
文化的な情報、応用表現など	i の音が r になってしまふと、pirate 「海賊 パイラト」と誤解される。	

police officer	police の i にアクセント。	警察官
英語らしい音を出すコツ	「ポリース」と伸ばして発音する。officer の o は「ア」と言うつもりで大きく開けた口で「オ」と言う。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。	
文化的な情報、応用表現など	警察官には、“Officer!” と呼びかける。道を教えてもらつたら、“Thank you, officer!” と言えばよい。	

queen		女王
英語らしい音を出すコツ	q のあと w の音をしっかりと発音する。語尾の n も、舌先を上の歯の裏に付けてしっかりと発音する。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。	
文化的な情報、応用表現など	queen は king の妻のこと。また、西欧の多くの国では、王に息子がいない場合、女性が君主になり queen と呼ばれる。イギリスのエリザベス 2 世女王の夫君エディンバラ公が king と呼ばれないのは、先代の英国王の子孫ではないので王位継承権がないからである。	

singer		歌手
英語らしい音を出すコツ	sing は息が鼻に抜ける音なので、sin のあとに「ガー」と言って「シ・ン・ガー」と 3 音節で言うのは間違い。sing の ng が鼻にかかったまま 「スインg・ア」と、2 音節で発音するのが正しい。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。	
文化的な情報、応用表現など	よく似ているが、finger は「フィン・ガー」と、g をはっきり発音する。	

soccer player	so- と play の両方にアクセント。	サッカー選手
英語らしい音を出すコツ	soccer の o は、「サ」と言うつもりで大きく開けた口のまま「ソ」と言う。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。	
文化的な情報、応用表現など	英国では、普通、サッカーを football と呼ぶ。オーストラリアやニュージーランドでは football と言えばラグビーのことだと理解される。アメリカとカナダでは football と言えばアメリカン・フットボールのこと。	

teacher		先生、教師
英語らしい音を出すコツ	最初の t に力を込めて発音する。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。	
文化的な情報、応用表現など	teacher は敬称にはならないので、「先生！」と呼びかけるときは “Teacher!” とは言わずに “Mr. Sato!” や “Ms. Koizumi!” のように名前を呼ぶのが正しい。「鈴木先生」を Suzuki-teacher と言うことも間違い。また、ALTを敬称なしのファーストネームで呼ばせるのに抵抗があるときには、ファーストネームに sensei を添えて、Linda-sensei などと呼ばせるのもよいかもしれない。	

vet		獣医
英語らしい音を出すコツ	v は下唇に上の歯を当てて発音する。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。	
文化的な情報、応用表現など	vet は veterinarian 「ヴェタリネアリアン（アメリカ英語）」の略語。イギリス英語では、正式には、veterinary surgeon 「ヴェタリナリ・サージャン」を使う。	

zookeeper	zoo にアクセント。	飼育係
英語らしい音を出すコツ	oo は唇を突き出して、長く発音する。	
文法的な注意事項	数えられる名詞。	
文化的な情報、応用表現など	1 語として綴る。動物園管理人、または動物園の飼育員。	